

漆サミット 2017 in 鎌倉の開催について（第2報）

漆サミット 2017 in 鎌倉

国宝・重要文化財の修理に要する国産漆・木材の安定供給を探る

主催：日本漆アカデミー

共催：（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所・鎌倉彫協同組合・NPO 法人 壺木呂の会

後援：林野庁・諸戸林業株式会社・漆を科学する会

1. 期日

2017 年（平成 29 年）11 月 24 日（金）～26 日（日）

2. 会場

鶴岡八幡宮直会殿、鎌倉彫会館、東慶寺

3. 内容

「漆サミット 2017」では①「これからの国宝・重要文化財の保存・修復を考える」と題する基調講演、「鎌倉と漆器」に関する講演会及び「国産漆増産に向けた取組と今後の課題」に関するパネルディスカッション、②「鎌倉彫を体験し、国産漆を考える」と題するワークショップ、③「将来の国宝・重要文化財修復のための木材の安定供給」に関する講演会及び「国産漆の利用によって地域再生を考える」に関する講演会、⑤「漆」をめぐる学際的な最新の研究成果等に関わるポスター発表、⑥東慶寺が所蔵する重要文化財などの見学会、⑥ふるさと文化財の森「浄法寺漆林」や「秦野市諸戸林業ヒノキ・スギ林」に関するパネル展示を行います。

4. 日程と場所

第1日 11月24日（金）

鶴岡八幡宮直会殿

10:00～10:15 開会式 鎌倉市長、（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所理事長、日本漆アカデミー会長

10:20～11:20 基調講演 「これからの国宝・重要文化財の保存・修復を考える」
人間国宝 室瀬和美氏

11:20～13:00 ポスター発表（10:00 ポスター掲示、11:30～12:30 コアタイム、13:00 ポスター撤収）

13:00～14:00 講演会「鎌倉と漆器」鎌倉歴史文化交流館副館長 高橋真作氏、株式会社博古堂代表取締役 後藤圭子氏

14:00～17:00 パネルディスカッション「国産漆増産に向けた取組と今後の課題」
文化庁文化財部参事官（建造物担当）文化財調査官 金井健氏、林野庁林政部特用林産対策室長 長江良明氏、岩手県二戸市浄法寺総合支所漆産業課長 姉帯敏美氏、茨城県奥久慈漆生産組合長 神長正則氏

18:00～20:00 懇親会・鎌倉彫会館

※交流会：定員 70 名、要事前申し込み（申し込み締め切り：11 月 17 日）・有料

懇親会費は 4,000 円になります。

第2日 11月25日（土）

鎌倉彫会館

10:00～12:00 講演会「将来の国宝・重要文化財修復のための木材の安定供給」

諸戸林業株式会社丹沢所長 笹原美香氏、建築家 日影良孝氏

12:00～14:00 ポスター発表(10:00 ポスター掲示、12:30～13:30 コアタイム、14:00
ポスター撤収)

14:00～17:00 ワークショップ「鎌倉彫を体験し、国産漆を考える」鎌倉彫協同組合
柏木豊司氏・遠藤英明氏

※ワークショップ：定員 25 名、要事前申し込み（申し込み締め切り：11 月 17 日）・
有料、ワークショップ費は 3,000 円になります。

14:20～17:00 講演会「国産漆の利用によって地域創生を考える」

彦十蔭絵代表 若宮隆志氏、鎌倉彫会館館長 後藤尚子氏、筑波大学芸術系准教授 宮
原克人氏、岩手県商工労働観光部地域産業課長 高橋孝政氏

17:00～17:10 閉会式

第 3 日 11 月 26 日（日）

東慶寺

10:00～14:00 東慶寺重要文化財ほか見学会

※見学会：定員 50 名、要事前申し込み（申し込み締め切り：11 月 17 日）・有料
見学会費は 500 円になります。

5. 参加対象

“漆” 関係者及び一般

6. 参加費

漆サミットは無料、ただし、懇親会、ワークショップ及び見学会は有料

7. ポスター発表に関すること、サミット全体に関する申し込み・問い合わせ先

〒020-0123 岩手県盛岡市下厨川字鍋屋敷 92-25

（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所東北支所

産学官民連携推進調整監 田端雅進

電話：019-648-3950 FAX：019-641-6747

E-mail：info@urushisummit.jp

公式ホームページ <http://urushisummit.jp/>